

保護者様

つくばみらい市立小絹中学校長 栗原 繁則

## 学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、12月に実施した学校評価アンケートには、たくさんの保護者の方々に回答していただき、ありがとうございました。回答をもとに、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。

つきましては、下記の通り報告いたします。

## 記

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
<b>1 自己表現</b> (数値目標70%)			
(1) 授業で、自分の考えを表現できているか。			
・とてもそう思う・そう思う	65%	91%	43%
(2) 表現できている場面			
・自分の考えを書くとき	72%	81%	47%
・グループ活動するとき	52%	62%	24%
・ペアで活動するとき	38%	38%	12%
・発表するとき	34%	52%	29%
・分からない	0%	0%	31%
<b>2 家庭での学習</b>			
(1) 主体的に家庭学習に取り組んでいる。(数値目標70%)			
・とてもそう思う・そう思う	63%	66%	55%
(2) 教員の働きかけ			
・家庭学習の仕方を説明した	58%	55%	13%
・内容を例示した	37%	50%	9%
・生徒の努力を認めた	15%	60%	11%
・内容や量を見えるようにした	13%	20%	8%
・家庭学習の利点を説明した	30%	35%	7%
・分からない	1%	0%	64%
(3) 主体的に取り組んでいる家庭学習			
・学校から出された宿題	79%	86%	71%
・テストに備えた学習	65%	65%	60%
・塾から出された宿題	48%	45%	39%
・自分で決めた学習	47%	25%	29%

### 思考力・表現力の向上のために

感染症対策を講じて、可能な範囲でグループ及びペアでの学習や発表の機会を設け、自分の考えを高めあう力、自分を表現する力を高めてきました。今後も、1人1台タブレット端末を効果的に活用することで、思考力・表現力の向上に努めていきます。

また、次年度も新聞7紙を活用した NIE 活動を様々な教科で実践し、多面的・多角的な見方及び表現力の向上に努めていきます。

3 自己肯定感	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 自分の良さや可能性を知っているか。(数値目標 95%)			
・とても知っている・知っている	43%	76%	54%
(2) どんな活動で知ったか。			
・部活動	53%	75%	57%
・学級の集団づくり	49%	75%	18%
・教科の学習	35%	50%	20%
・二者面談	12%	20%	16%
・スクールカウンセラーとの面談	4%	30%	3%
・委員会・生徒会活動の活性化	18%	45%	22%
・分からない	1%	0%	27%

4 生徒の不安や悩みへの対応	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 生徒が困っているときに、手助けができていますか。(数値目標 90%)			
・とてもできている・できている	87%	100%	60%
(2) どんな手助けをしているか。			
・ふだんから声かけ	74%	91%	40%
・アンケートに記入された後に相談	23%	91%	10%
・困っていることを話されたときに相談	25%	67%	27%
・スクールカウンセラーと話す時間を確保	4%	71%	13%
・分からない	1%	0%	23%

### 自己肯定感の向上のために

1・2年生においては、部活動や学級での仲間づくりに力を入れます。そのためには、部活や学級でも1人1役を与えるなど、責任をもって仕事を行わせていく指導をしていきます。また、学級活動や朝の活動等でエンカウンターや SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を継続して実施していきます。

5 規則正しい生活	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 規則正しい生活ができていますか。(数値目標 80%)			
・とてもできている・できている	76%	76%	67%
(2) どんなことをしているか。			
・早寝・早起きをしている	46%	42%	39%
・朝ご飯を食べている	91%	63%	91%
・情報端末の制限	33%	21%	43%

・ゲームの制限	24%	32%	18%
---------	-----	-----	-----

## 6 運動への取組

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
--	------	-------	-------

(1) 運動に意欲的に取り組んでいるか。(数値目標75%)

・とても取り組んでいる・取り組んでいる	71%	95%	62%
---------------------	-----	-----	-----

(2) どんな運動に取り組んでいるか。

・保健体育の授業	73%	91%	60%
・部活動	60%	86%	55%
・自分で決めた運動	33%	10%	18%
・クラブチーム	13%	38%	11%
・習い事	10%	14%	9%

### 健康への意識向上のために

朝食は、9割以上の生徒が取っていました。ご家庭でのご協力に感謝します。中には欠食の生徒もいるので、個別に声かけを行っていきます。

メディア利用時間については、ゲームやスマホ等の使用ルールが守られず、睡眠時間や睡眠の質にも影響することが考えられます。12月に使い方についてご家庭で話し合っただく機会を設けましたが、今後も保護者の協力を得ながら手立てを検討し、健康面への影響を指導していきます。

多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいるので、引き続き体育の授業でサポートしていきます。また、部活動のない期間でも、家庭でできるストレッチ運動を体育時間や部活動のミーティングで紹介し、自分で運動を決めて取り組むことができるようにしていきます。

## 7 将来のこと

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
--	------	-------	-------

(1) 夢や目標をもって生活しているか。(数値目標70%)

・ととてもしている・している	64%	86%	48%
----------------	-----	-----	-----

(2) 親子で将来のこと話すか。(数値目標65%)

・とても話す・話す	54%	設問なし	68%
-----------	-----	------	-----

### 自分をスキルアップさせる力の向上のために

来年度も、進路説明会、進路講演会を継続して実施し、各学年の進路コーナーを充実させ、生徒の将来について、生徒が保護者と話をできる環境を整えていきます。また、総合的な学習の時間に適性検査や職業調べを充実させることで、将来の夢や目標につなげていきます。

## 8 「分かった!」「できた!」を実感できる授業

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
--	------	-------	-------

(1) 「分かった!」「できた!」実感しているか。(数値目標90%)

・ととてもしている・している	83%	86%	41%
----------------	-----	-----	-----

(2) どんな授業か。

・体験を伴う活動	47%	76%	37%
・ミニテスト、練習問題	66%	52%	50%
・授業と関連する動画や写真を見た	32%	52%	16%
・実物が用意されたとき	33%	38%	14%

9 能力に合わせた活動	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 生徒の能力に合わせた活動があるか。(数値目標 85%)			
・とてもある・ある	86%	91%	37%
(2) どんな活動か。			
・教員が生徒にアドバイス	35%	79%	17%
・友達と教え合う活動	68%	95%	27%
・自分でまとめる活動	28%	53%	13%
・個人差に合わせた活動内容	18%	16%	1%
・解く問題を選択できる	21%	16%	14%
・活動を生徒が選択できる	16%	5%	15%
・写真や動画を使った鑑賞	25%	21%	9%

### 自分で行動できる力の向上のために

生徒が興味を持つ学習課題を設定したり、定着を図るための多様な練習問題を取り入れたり、課題を自分で解決し、まとめ、伝え合う活動を多く設定したりして、自ら進んで行動できる生徒を育てる工夫を行っていきます。

10 学校からの情報	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 学校からの情報を保護者に伝えているか。(数値目標 97%)			
・とても伝えている・伝えている	77%	100%	82%
(2) 有効だった手段			
・スクリーン・緊急メール配信	64%	95%	93%
・ホームページ	47%	67%	54%
・朝の会、帰りの会	26%	67%	9%
・学年だより	40%	71%	51%
・学校だより	38%	52%	37%
・家庭訪問	6%	33%	2%
・分からない	10%	0%	2%

11 保護者との連携	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 保護者と連携して教育活動ができているか。(数値目標 60%)			
・とてもできている・できている	62%	100%	65%
(2) 連携できているのは			
・行事への協力	50%	91%	59%
・提出物の期限内の提出	32%	29%	18%
・保護者から相談を受けた	9%	33%	23%
・保護者へお願いした	8%	38%	5%
・学校への意見	6%	10%	8%
・分からない	35%	0%	18%

12 地域との連携	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 地域と連携して教育活動ができているか。(数値目標 60%)			

・とてもできている・できている	55%	100%	60%
(2) 連携できているのはどんなときか。			
・資源回収・除草作業	44%	86%	62%
・地域の方がゲストティーチャー	23%	38%	26%
・生徒の情報が寄せられるとき	18%	43%	11%
・市や県、国の方がゲストティーチャー	20%	33%	12%

#### 社会に開かれた安全・安心な学級づくりのために

スクリレの導入による情報提供が効果的だったことから、保護者向け文書のデジタル化をさらに進めていきます。また、今後も感染症対策を工夫しながら、保護者や地域の方々のお力をお借りして、生徒の質の高い学びを実現に向けて努力します。